

# ☆美文字（硬筆）の練習

ことわざ（手書きの部分）やお礼状の手本も見ながら、  
 やくして、ぬい手持ちのノットに書き写しましょう。

## 「ことわざ」の学習

「ことわざ」は

昔から伝えられた人々の生活の知恵や  
 生きていく上で大切な教えを表現した短文です。

「ことわざ」を知ることで、困ったときや悩んだときの励ましや解決策が  
 みえてくるかもしれません。なので、「ことわざ」を学習しましょう。

働き続けるために覚えてたいことわざ

「ことわざ」	意 味
石の上にも三年	つらくて大変なことでも辛抱して続ければ成功する。
縁の下のカ持ち	人に知られないところで他人のために努力や苦勞をすること。また、そのような人。
亀の甲より年の功	年長者が身に付けた長年の経験や豊富な知識は大事にすべきだ。
聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥	知らないことを聞くのはそのときに恥をかくだけだが、知らないままだと一生恥をかくということ。
失敗は成功の基	失敗しても、反省して、失敗の原因を改善すれば成功につながる。
七転び八起き	何回失敗してもくじけずに、勇気を出して立ち上がること。

ことわざ

意味

笑う門には  
福来たる

笑いの絶えない家は、自然と幸せが訪れる。  
また、どんなにつらいときでも笑っていれば幸せが訪れる。

魚心あれば水心

相手が好意を示すのであれば、自分もそれに  
応じて好意をもって対応しよう。

親しき仲いも  
礼儀あり

どんなに親しい仲でも、遠慮がなくなるとけんかの  
原因になるから礼儀をもつてつきあうべきだ。

短気は損気

短気を起こすと、イライラしたり、他人とぶ  
つかったりして損をすることになる。

丸い卵も  
切りようや四角

言い方ややり方次第で、物事がうまくいくこ  
ともあれば、けんかになってしまうこともあ

和ももって  
責しとなす

他人と仲良くやっていくことが何より大切  
だということ。

親の心子知らず

親の深い心を知らずに、子どもは勝手気まま  
にふるまうこと。

口は災いのもと

うかつなことをいうと不幸の原因になると  
いうこと。